



JCOG (Japan Clinical Oncology Group)
日本臨床腫瘍研究グループ

JCOG運営事務局長補佐
片山 宏

JCOGの定義

- 国立がん研究センター研究開発費、日本医療研究開発機構研究費を主体とする**公的研究費**によって**助成される研究班を中心として研究を実施する多施設共同臨床研究グループ**
- JCOG で実施される試験は、原則として**国立がん研究センター中央病院臨床研究支援部門が中心となって研究の支援を行う**
- **がん診療連携拠点病院を中心とする医療機関の研究者よりなる専門分野別研究グループ**と国立がん研究センターが管轄する**各種委員会、中央支援機構**（データセンター、運営事務局）から構成されており、**法人格を有さない任意団体**

JCOG の機構 (2022.4)



監視・管理機構



国立がん研究センター

JCOG評価委員会

基盤的研究費+監視

JCOG管理会議

JCOG 代表者 大江裕一郎 @NCCH

運営委員会

常設委員会
 プロトコル審査委員会
 効果・安全性評価委員会
 監査委員会
 教育研修委員会
 利益相反委員会

専門委員会
 放射線治療 病理 薬事・保険
 試料解析研究 臨床研究専門職 画像
 高齢者研究 PRO/QOL 患者参画

小委員会
 ゲノム医療研究 医療経済評価

国立がん研究センター
 中央病院 臨床研究支援部門 20名
 + NPOがん臨床研究機構 35名
 (CORE) 計55名 +2

中央支援機構

データセンター

35名 +3

運営事務局

20名 -1

JCOG-BBJ連携
 バイオバンク
 調整事務局

16 専門領域別グループ

研究実施主体

185 参加医療機関

-1

759 施設 (診療科)

+17

肺癌内科	肺癌外科
胃癌	食道がん
乳がん	リンパ腫
婦人科腫瘍	大腸がん
泌尿器科腫瘍	骨軟部腫瘍
脳腫瘍	放射線治療
肝胆膵	消化器内視鏡
頭頸部がん	皮膚腫瘍

放射線治療
 医学物理WG

小児がん、
 白血病なし

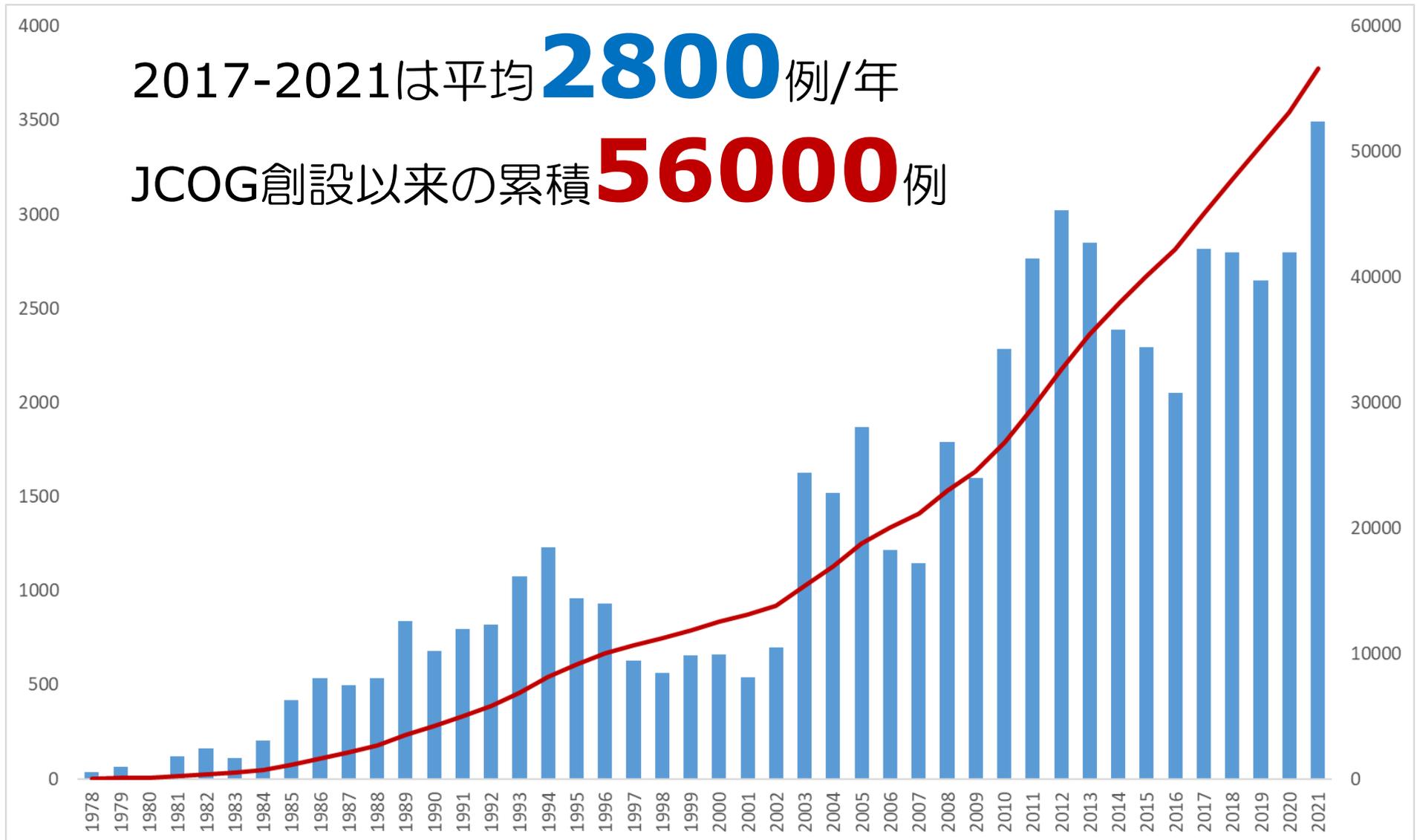
100試験

登録中 49
 追跡中 37
 準備中 14

昨年4月より
 -1 試験
 登録中 ±0
 追跡中 ±0
 準備中 -1

登録患者数の変遷

年間登録数



累積登録数

JCOGのミッション

■ JCOGの目的と目標

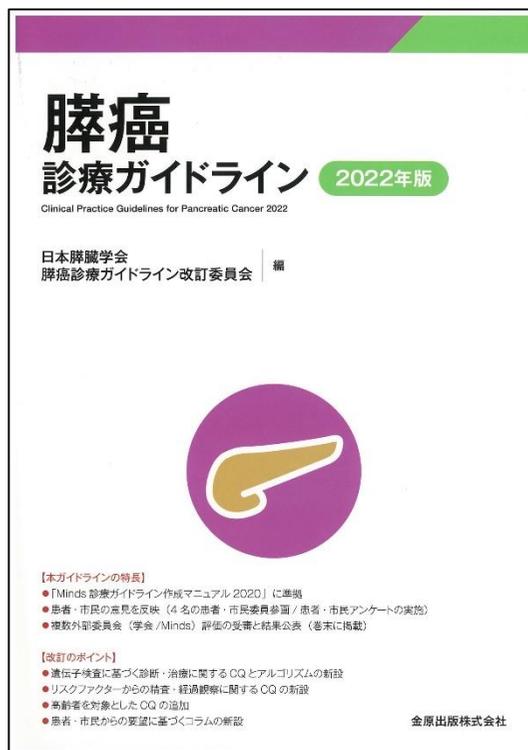
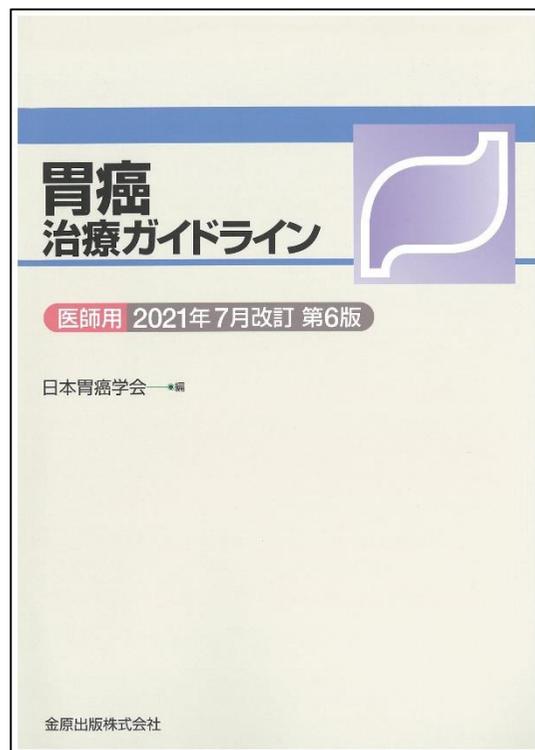
- **新しい治療法の開発や検証的試験の実施を通じて、科学的証拠に基づいて患者に第一選択として推奨すべき治療である標準治療や診断方法等の最善の医療を確立することを目的として研究活動を行う。**
- **この研究活動を通して、各種がんの治癒率の向上とがん治療の質の向上を図ることを目標とする。**

治療（診療）ガイドライン

- 診療上の重要度の高い医療行為について、エビデンスの系統的レビューとその総体評価、益と害のバランスなどを考量して、患者と医療者の意思決定を支援するために**最適と考えられる推奨を提示する文書**

「Minds診療ガイドライン作成の手引き
2014（医学書院）」より一部改変

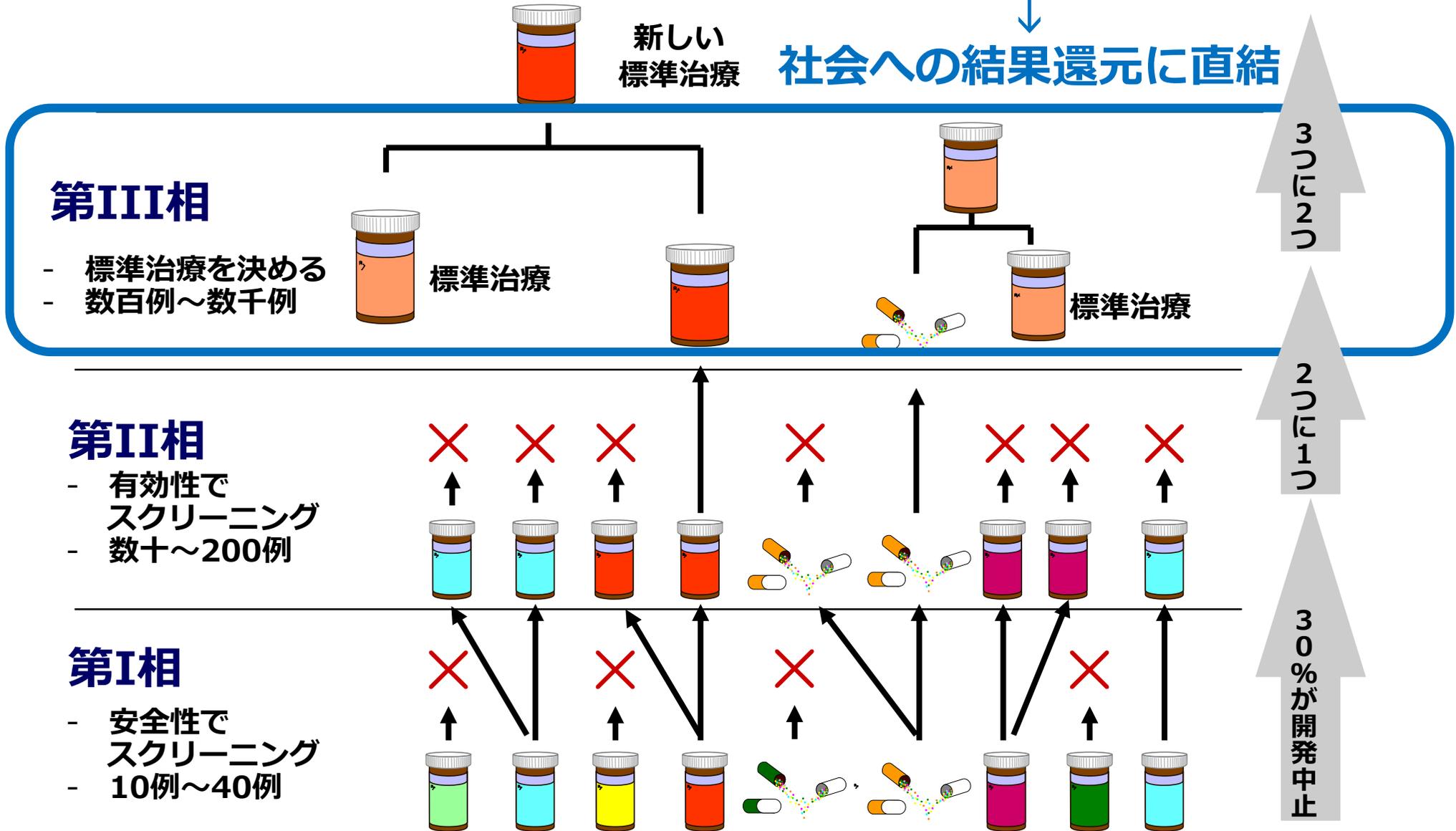
- 日本では各がん種ごとの学会が作成



がん臨床試験の流れ

JCOG試験の約7-8割が第III相

↓
社会への結果還元に直結



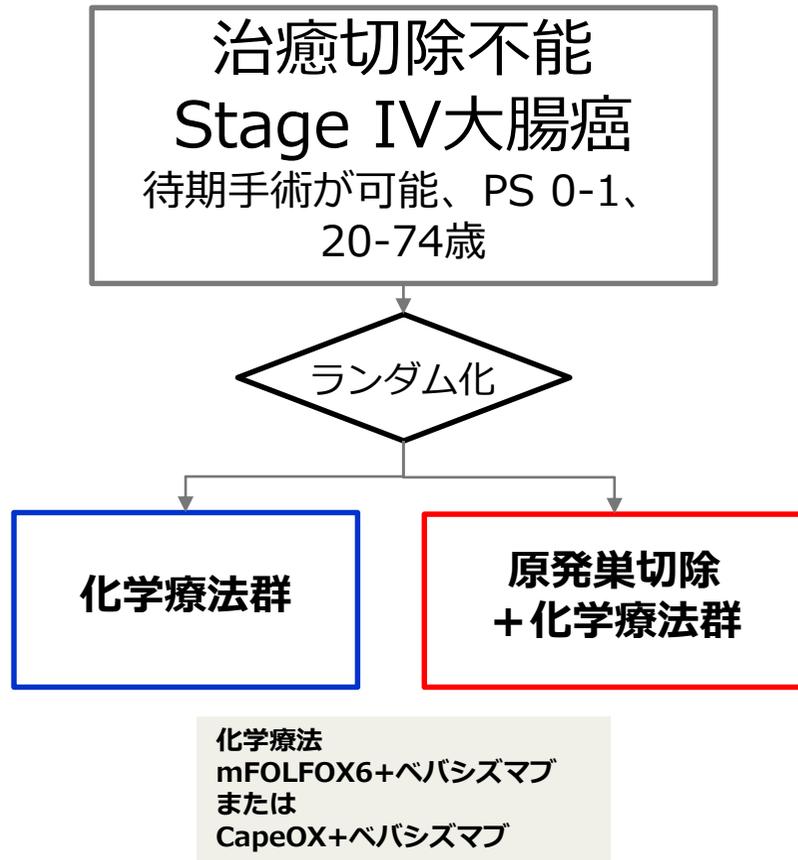
がん治療開発におけるJCOGの役割

企業が行わない治療開発

- **集学的治療・手術・放射線治療の臨床試験**
 - 化学放射線療法の評価
 - 放射線治療の有無・照射法の評価
 - 手術手技の評価
 - Stage IVのがんに対する原発巣切除の評価
- **ライバル社の薬剤の直接比較、治療期間短縮**
 - 術後補助化学療法の薬剤比較
 - 術後補助化学療法の治療期間短縮
 - 免疫療法の治療期間短縮（休止）
- **希少がん/希少集団を対象とした試験**
 - 小腸がん、小児がん、肉腫
 - 高齢者、バイオマーカー（+）の希少がん

代表的なJCOG試験の例：JCOG1007

治癒切除不能進行大腸癌に対する原発巣切除の意義に関するランダム化比較試験

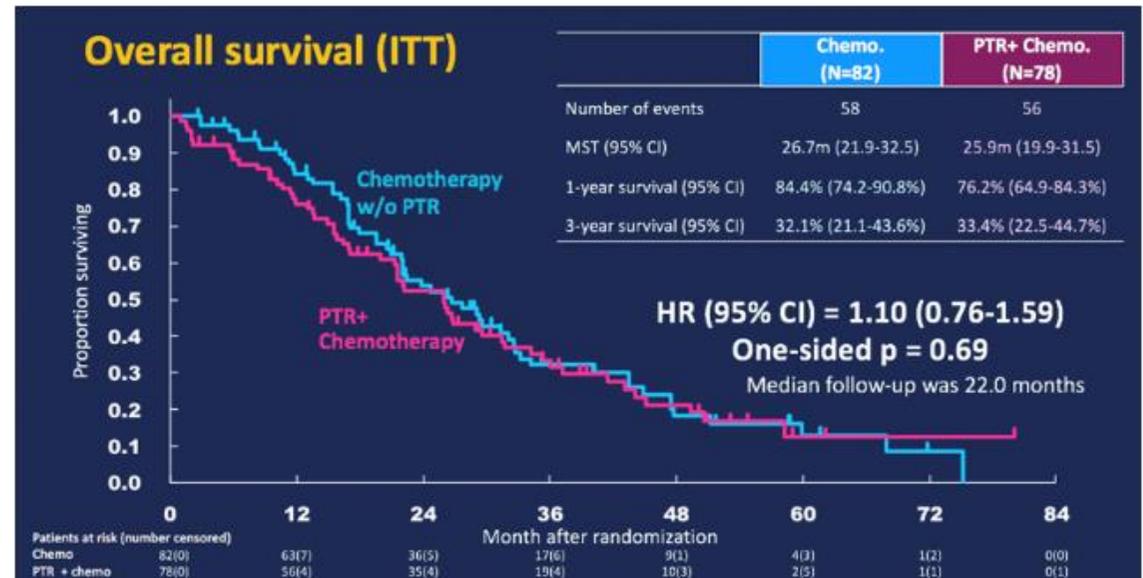


ステージ4大腸がんの新たな標準治療を検証

切除不能転移を有するステージ4大腸がんに対して原発巣切除を先行しても生存改善は認められず

2021年2月10日

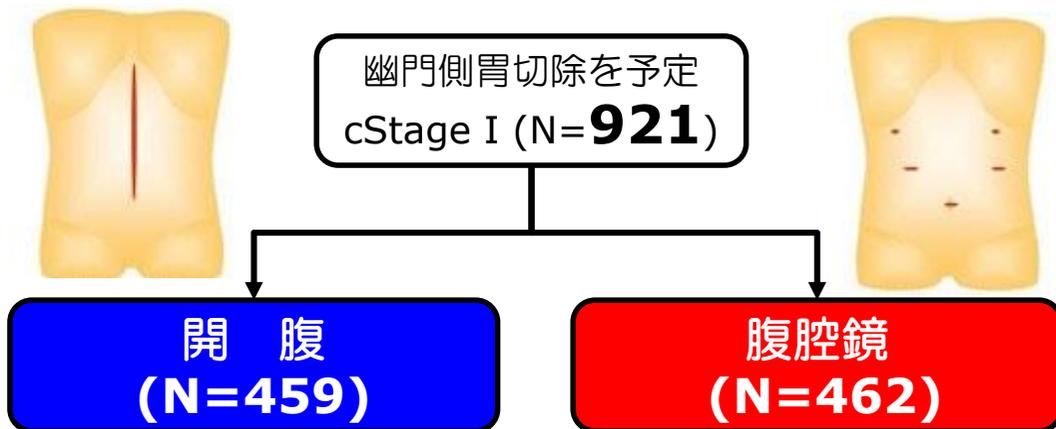
国立研究開発法人 国立がん研究センター



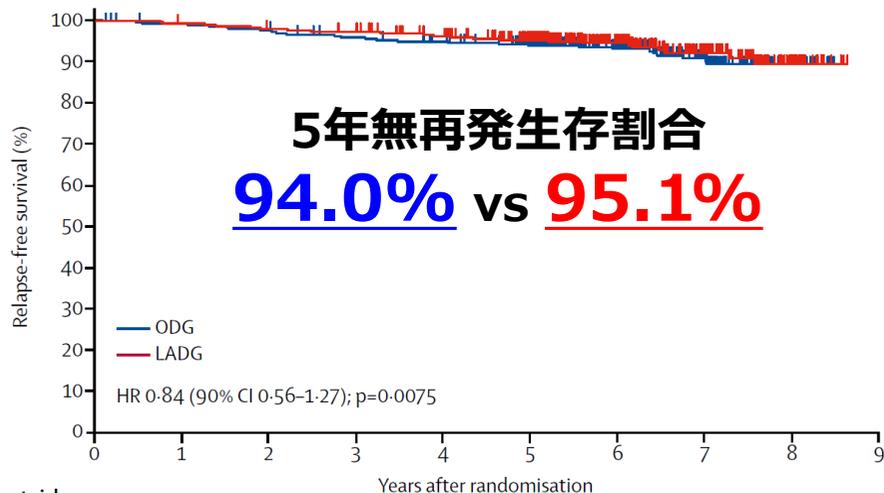
大腸癌治療ガイドラインに掲載！

代表的なJCOG試験の例：JCOG0912

臨床病期I期胃癌に対する**腹腔鏡下幽門側胃切除術**の
開腹幽門側胃切除に対する非劣性を検証するランダム化比較試験



国内の33医療機関による
多施設共同
大規模ランダム化比較試験

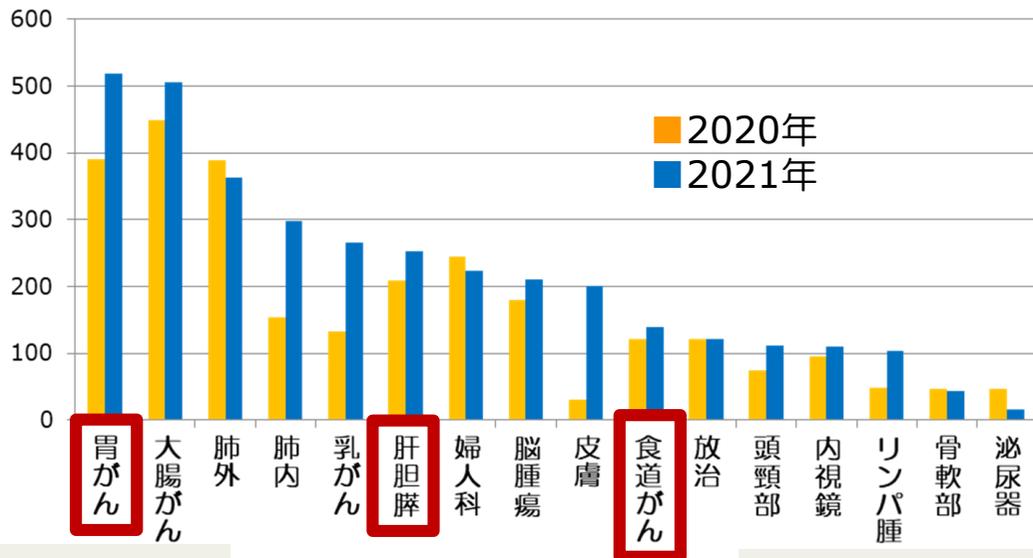


- Stage Iに対して、開腹に対する腹腔鏡補助下の幽門側胃切除術の非劣性が検証された。
- **腹腔鏡補助下幽門側胃切除は、標準治療**となりうる。

胃癌治療ガイドラインに掲載！

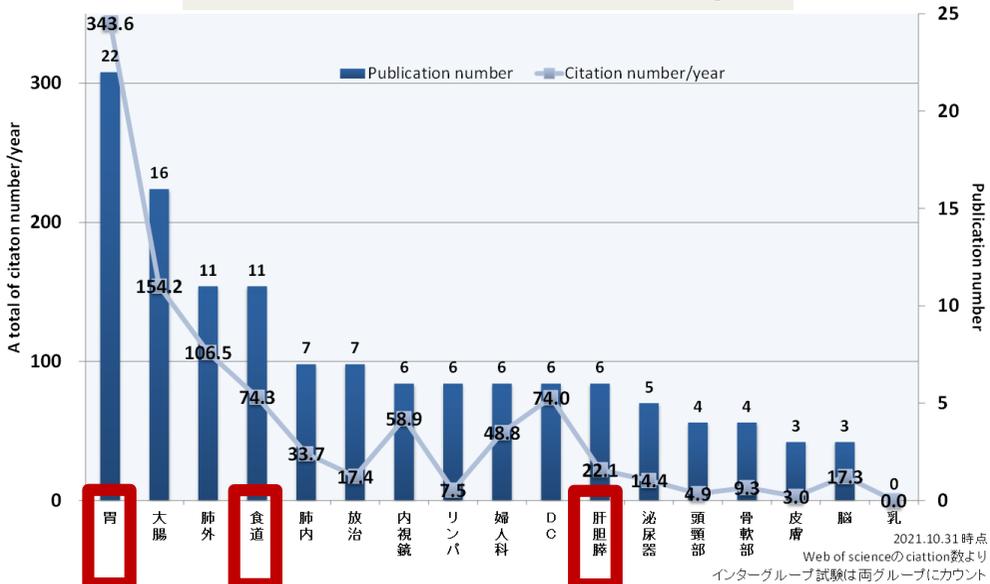
本試験実施の3グループのactivity

年間登録数



Publication activity

対象：2016-2020年出版



ガイドライン掲載数

